

平成30年度 法人本部事業報告

1. 総 括

法人の経営理念や諸規程、社会的ルールやモラルを遵守し、コンプライアンスの徹底を図るとともに、社会福祉法人行動指針を実践し、会計監査人の設置による、法人の経営力強化、効率的な経営、財務情報の信頼性の向上、ガバナンス強化だけでなく、さらなる社会的信頼性の向上に取り組みました。

4月から、従来のケアハウス「さわやか寮」を、地域密着型特定施設入居者生活介護事業所、特定ケアハウス「さわやか寮」として運営し、地域への福祉サービスを提供し、安心して生活を営むことができるよう支援しました。

障害者施設においては、利用者の高齢化にともない、居室やトイレ等のバリアフリー改修工事を行い、安心・安全な生活が送れるよう、施設整備を進めました。

2. 重点事項

- (1) 利用者の自己決定と選択を尊重し、旅行、食事等において、個人の尊厳に配慮した良質かつ適切な福祉サービスに努めました。
- (2) 地域における公益的な取り組みとして、永楽苑デイサービスセンターにご利用登録されている方に、福祉有償運送事業と夕食宅配サービス事業を行いました。
- (3) 地域貢献活動として、地域子ども達が多く楽しく食事をしながら交流する事を目的として、「夏休みお楽しみ子ども食堂」と「冬休みお楽しみ子ども食堂」を実施し、多くの参加者に楽しいひと時を提供することができました。
- (4) 31年度より、北秋田市からの委託業務として運営する「北秋田市中心部地域包括支援センター」の事業所設置工事を行いました。
- (5) 地域との交流として、各施設の備品や、関係福祉団体等へのマイクロバスの貸出しを行いました。
- (6) 職員が仕事を通じて人間的に成長できるよう、より良い職場の環境づくり、さらなるスキルアップのため専門資格取得への助成を行いました。
- (7) 利用者の方への安全で安定した食事の提供が継続していけるように、セトルキッチン建設に向けての検討と準備を進めました。

3. 主たる施設整備・設備整備

(1) LED交換工事	2,365,200 円
(2) 旧グリーンハウス「レハブ」作業所解体工事	1,980,720 円
(3) 永楽苑デイサービスセンター等解体工事	3,420,507 円
(4) 北秋田市中心部地域包括支援センター	4,368,600 円
(5) さざなみ温泉浴室入口戸取替工事	1,035,720 円